



高西小だより

H25, 12, 20(金) 校長:古屋 NO13

学校教育目標
夢を切り拓く
心豊かで
たくましい子ども

80日間の第2学期の終業式を迎え、年間205日の約4分の3を終えることになりました。

思い起こせば、夏休みを終え、残暑が和らぐ中での運動会から始まり、むらやま祭やふれあい・発見・楽しむ会、スケート教室と展開する中、その間、各学年の行事やPTA活動、そして、校外学習等盛りだくさんの学習活動が行われました。また、今学期は、「子ども能」公演や「おはなしやさん10周年記念おはなし会」が開催されるなど特別な取り組みもありました。

子どもたちにとって、これらの体験や学習は、勿論、楽しいことが多かった訳ですが、その反面、多くの苦しみや忍耐、葛藤があったことと思います。子どもたちの成長にとって、良いことばかりでは健全な成長はありませんし、苦しみだけでも同じことがいえます。その両方が、その子の実態にあった分量で施された時に、その子にとっての大きなプラスの成果が表れるものと思います。そして、その成長過程を指導、支援するのが学校であり、家庭であり、地域です。それは、子どもの姿は常に同じではなく、成長をし続けていますし、見せる姿もその場その場で違うからです。子どもの姿を共有し、同じ視点、方向性に向けて見守ることが、今とても大事です。

さて、子どもたちにとって、明日から数えると20日間の冬休みとなります。大人にとっても年末年始を合わせると9日間にもなります。(そんなにとれない方もいらっしゃると思いますが・・・)お正月を含めたこの時期だからこそその家族のふれあいを深める機会をつくって欲しいと思います。健康で安心安全な楽しい冬休みになるようよろしくお願ひします。2学期間のご支援ご協力ありがとうございました。

来年度の児童会役員 決まる！

11日(木)、来年度に向けて立会演説会と投開票が行われました。今年は、各候補、責任者とも選挙公約や決意文を殆ど暗記して演説を行ったのでそれぞれの思いがとてもよく伝わってきました。

来年度の児童会役員になった7人の選挙公約には「スタンプあいさつ運動」「イベント交流会」など新しい取り組みも提案されました。これから、西小のリーダーとしてみんなで力を合わせて、学校大好き、友だち大好き、あいさつのよくなる明るい学校をつくって欲しいと思います。(各役とも届出順です)

- 会長 浅川 咲来さん
- 副会長 有賀 健人さん 清水 雄斗さん
- 本部役員 佐藤 琴海さん 花輪 希さん 古屋 里乃さん 石井 愛理さん



小瀬アイスアリーナでスケートを楽しみました！

12日(金)、スクールバスに乗って1年生、2年生、3年生がスケート教室に行ってきました。今年も、学年ごとインストラクターの先生方に指導していただき、短時間ではありましたがみるみる上手に滑れるようになりました。さすが3年生は、3回目ということで滑るスピードが違いました。今年、ボランティアさんを募ったところ、8名もの保護者の方々にご参加を頂きました。お陰様で、靴の紐結びや返却がスムーズとなり、滑る時間をたくさんとることができました。ありがとうございました。



友だちいっぱい！読書大好き！ 先生に質問・相談は今後も課題！

今年も子どもたちの立場からみた各教育活動の実態を把握して、

NO	評価内容
1	学校は楽しいですか。
2	クラスになかよく遊ぶ友だちがいますか。
3	クラスの間みんな仲がいいですか。
4	授業は楽しいですか。
5	授業で勉強したことがわかりますか。
6	先生はわかりやすく勉強を教えてくださいませんか。
7	授業でわからないことがあったら先生に質問できますか。
8	先生には何でも相談できますか。
9	授業中、自分の考えを発表していますか。
10	宿題以外にも家で勉強していますか。
11	家の人と学校のようにすをよく話しますか。
12	毎日朝ごはんを食べていますか。
13	先生や友だち、地域の人によくあいさつをしていますか。
14	学校のきまりややくそくをきちんと守っていますか。
15	そうじをしっかりとしていますか。
16	読書がすきですか。
17	なわとび、一輪車、竹馬、ボール遊びなど進んでやりますか。
18	運動会やむらやま祭などの学校行事や児童会行事は楽しいですか。

【児童アンケート結果より】

より良い進展と改善を図るために児童アンケートを実施しました。（評価1－思う、評価2－少し思う、評価3－あまり思わない、評価4－思わない）

今回のアンケート結果で肯定評価1・2の割合が伸びた項目は、2の「仲良く遊ぶ友だち」、4の「授業は楽しい」、12の「朝ごはん」、15の「そうじ」、16の「読書」、18の「運動会やむらやま祭などは楽しい」でした。

課題については、7の「先生に質問」、8の「何でも相談」、9の「自分の考えを発表」の肯定評価が8割を越えているものの、評価3・4の否定率は、昨年度とほぼ同じでした。特に、10の「宿題以外の勉強」においては、否定割合が大きくなっていますが、このアンケートが、家庭学習強調週間の実施後と実施前のどちらで行ったかによって大きく異なっただけと思われる。

国の動向をみると、授業の土曜日実施、道徳の教科化、外国語活動の小5から小3に前倒し、小5からの週3回の教科としての英語授業の実施等があります。今後さらに、学校が果たす役割と家庭

が果たすべき役割を子どもの実態に応じた方法で相互が責任を持って行い、今以上に、共に情報交換等の連携を深めながら同じ視点に立って指導、支援を行うことが重要となってきました。今後ご支援ご協力をよろしくお願ひします。

【昨年度 10月】



【本年度 11月】

